

分野	授業教目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
基礎	社会学	1	30	1年次前期～後期	非常勤講師

テキスト（発行所）	『いろいろあるコミュニケーションの社会学』（北樹出版）
-----------	-----------------------------

学習のねらい	・ 自らが生きる社会を、自らの言葉を使って語り直す、その術をこの半年で身につける。
学習目標	・ 「社会学的なものの見方」を習得する。 ・ そのことによって、自らの日常を違った角度からいま一度眺めてみる。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	社会学とは何か	社会学と社会科のちがひ	講義
2回	パフォーマンスする人々	・行為と演技 ・印象操作	講義
3回	観光のまなざし	・まなざしの変遷 ・観光地化される／されないこと	講義
4回	「らしさ」の社会学	・ジェンダーとセクシュアリティ ・パフォーマンス	講義
5回	恋愛・結婚・家族	・ロマンチック・ラブ・イデオロギー ・未婚化・晩婚化・多様化	講義
6回	障害の社会学	・ディスアビリティとインペアメント ・障害の社会モデル	講義 ビデオ視聴
7回	メディア社会学①	・インターネット, パーソナル・コンピュータ, スマートフォン ・民主主義	講義 ビデオ視聴
8回	メディア社会学②	・監視社会論 ・情報社会論	講義
9回	認知資本主義と労働	・認知資本主義 ・認知労働, 感情労働	講義
10回	モノと集合的記憶	・記号・物質・記憶 ・アーキテクチャ, プロトコル, アクター ・ネットワーク	講義 ビデオ視聴
11回	国民国家と人種化①	・「日本人」「外国人」「ハーフ」 ・社会史	講義
12回	国民国家と人種化②	・帰属の政治 ・多文化共生社会史	講義 ビデオ視聴
13回	オリンピックの社会学	・ジェントリフィケーション, 格差, ホームレス ・節合(アーティキュレーション)	講義
14回	社会学的分断と「耳を傾ける技術」	・社会学的想像力 ・批判とは何か	講義 ビデオ視聴
15回	まとめ	・「社会学する」こと ・試験について	講義

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 試験 or レポートによる
---------	---

受講上のアドバイス	教科書の言葉でもメディアの言葉でもなく、自らの「言葉」で社会を語ること。 日常生活を送りながら自分なりに意識してみてください。
-----------	--